

オルガノ株式会社

2021年3月期 決算説明会

(証券コード : 6368)

2021年5月17日

目 次

1. 2021年3月期 通期実績
2. 2022年3月期 通期計画
3. 中期経営計画
4. 会社概要

目 次

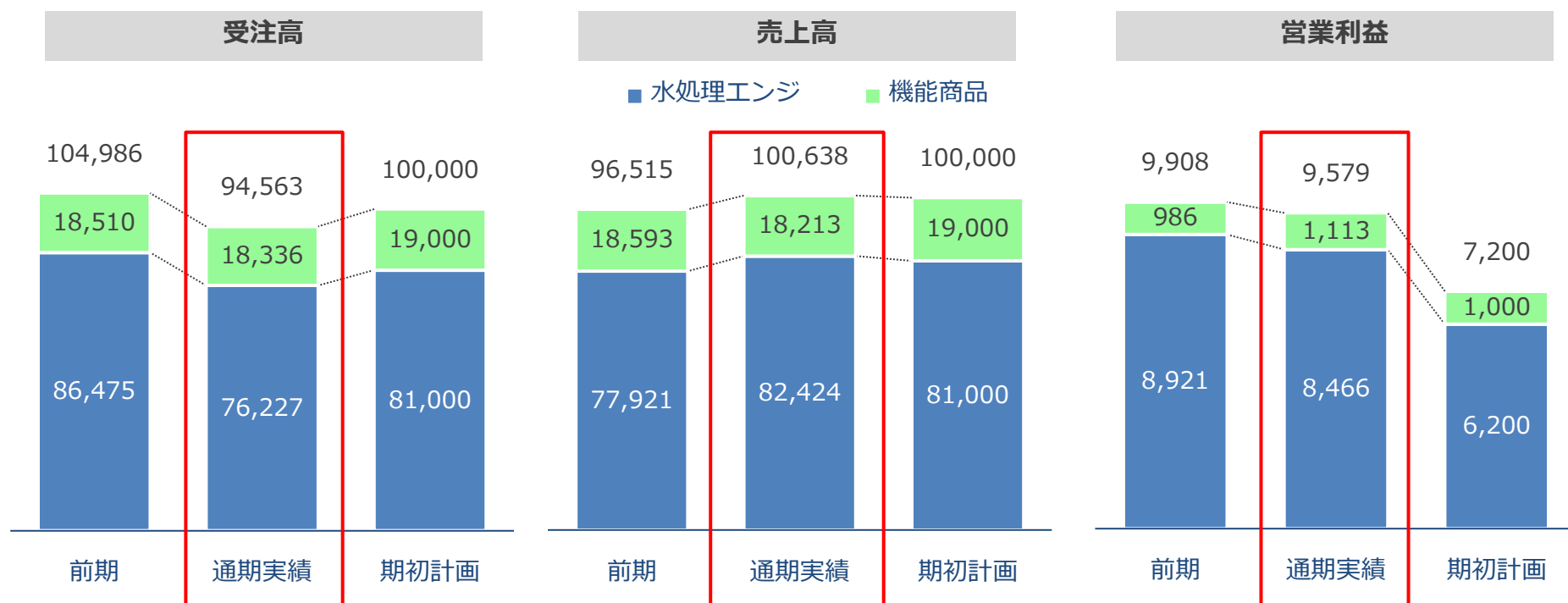
1. 2021年3月期 通期実績
2. 2022年3月期 通期計画
3. 中期経営計画
4. 会社概要

21年3月期通期実績：概況

受注は減少も売上は計画達成、営業利益も販管費減少で前期並達成

水処理エンジニアリング事業は受注減少も売上は好調、コストダウンに加え販管費減少で利益改善
機能商品事業は売上計画未達も前期並水準を確保、経費削減で利益改善

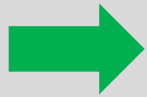
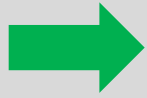
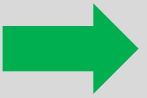
(単位：百万円)



21年3月期通期実績：コロナ禍の影響

水処理 エンジニアリング事業	電力・上下水	 概ね 影響せず	移動制限等によって営業活動に若干影響があったものの、受注・売上ともコロナ禍による影響は小さく、国内のソリューションサービスを中心に堅調に推移。 概ね前年並の水準を達成
	電子産業	 むしろ 活況に推移	テレワークやオンラインでの教育・エンターテインメントなどの拡大を背景に、スマートフォンやパソコン、データセンター等に向けた半導体需要が高まったことに加え、米中の半導体摩擦や生産工場の事故等の影響による世界的な半導体の供給不足もあって、設備投資・生産水準とも非常に活発に推移
	一般産業	 設備投資が 停滞	国内外で大型の設備投資を抑制・延期する傾向が続き、受注は大幅に減少。ソリューションサービスは電子部品や化学など電子産業の周辺分野は比較的好調に推移したが、自動車や外食、化粧品など一部の分野では生産水準の低下が影響

21年3月期通期実績：コロナ禍の影響

機能 商品 事業	水 処 理 薬 品	 一部影響も 前期並	自動車などの一般産業分野で一部顧客の生産水準低下が影響。一方で電子産業向けの各種水処理薬剤や除菌・消臭用の微酸性電解水オルプラスなどが好調に推移
	機 器 ・ フ ィ ル タ ー	 一部影響も 前期並	医療機関向けの標準機器や外食・コンビニなどに向けた飲料ディスペンサー用の浄水フィルターなどが苦戦も、研究機関などに向けたラボ用の小型純水・超純水装置は比較的好調に推移
	食 品	 一部影響も 前期並	外食向け商品の落ち込みが響いたが、巣ごもり消費など家庭用食品向けの商品が好調に推移

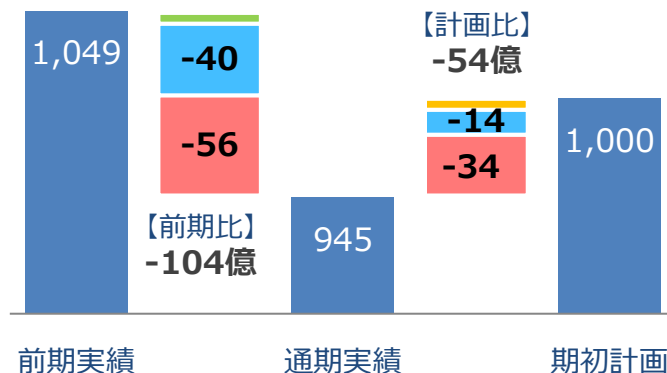
21年3月期通期実績：損益計算書

(単位：百万円)	20.3 実績	21.3 実績	21.3 期初計画	前期比 (%)	計画比 (%)
受注高	104,986	94,563	100,000	-9.9%	-5.4%
売上高	96,515	100,638	100,000	+4.3%	+0.6%
売上総利益 (%)	27,282 28.3%	26,326 26.2%	25,600 25.6%	-3.5%	+2.8%
販管費	17,374	16,746	18,400	-3.6%	-9.0%
営業利益 (%)	9,908 10.3%	9,579 9.5%	7,200 7.2%	-3.3%	+33.1%
経常利益	9,929	9,900	7,100	-0.3%	+39.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,162	7,074	4,700	-1.2%	+50.5%
ROE (自己資本利益率,%)	12.4	11.1	7.5		

21年3月期通期実績：受注高・売上高分析

(単位：億円)

受注高分析



【受注高】

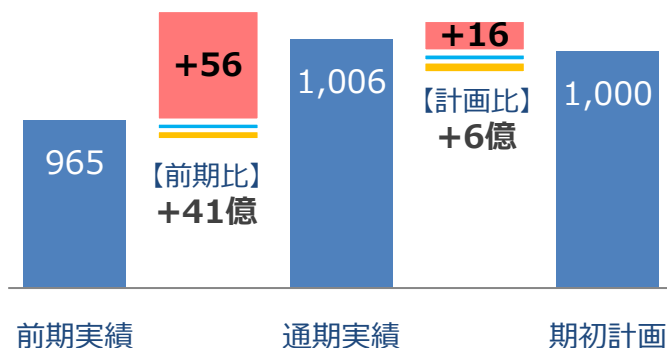
前期比：-104億円（9.9%減）

- ・電子産業は前期大型案件を受注した反動で減
- ・一般産業は国内外の設備投資抑制・延期影響

計画比：-54億円（5.4%減）

- ・電子産業は計画していた大型案件の契約が翌期にずれ込んだことが影響
- ・一般産業は想定以上に受注減少

売上高分析



【売上高】

前期比：+41億円（4.3%増）

- ・電子産業は前期受注した国内大型案件の工事が順調に進捗、海外も受注増で売上拡大

計画比：+6億円（0.6%増）

- ・電子産業は台湾・中国など海外市場が活況、想定以上に売上増加

■ 機能商品 ■ 電力・上下水 ■ 一般産業 ■ 電子産業

21年3月期通期実績：地域別受注高

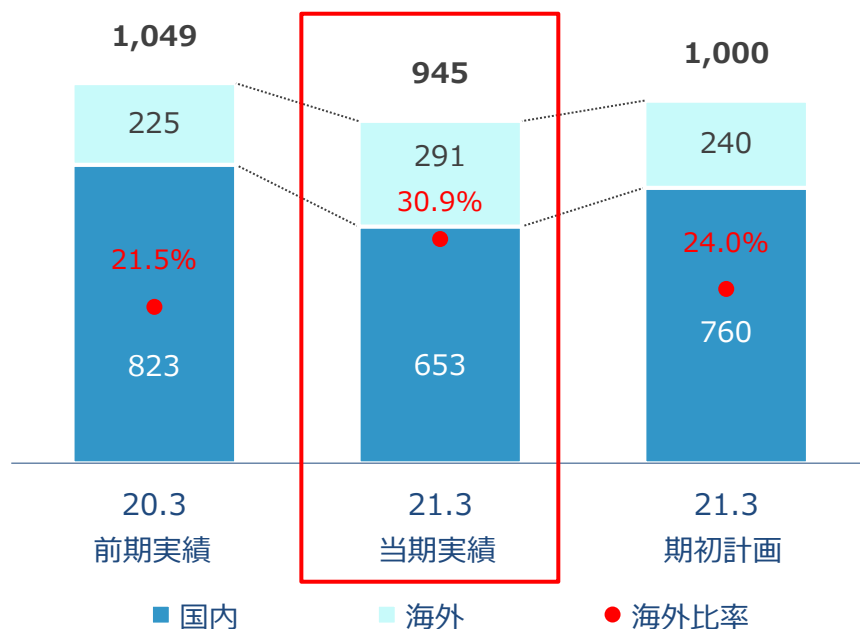
受注高は国内減少も台湾・中国など海外が大きく伸長

国内：電子産業の前期大型受注による反動減、一般産業の設備投資抑制

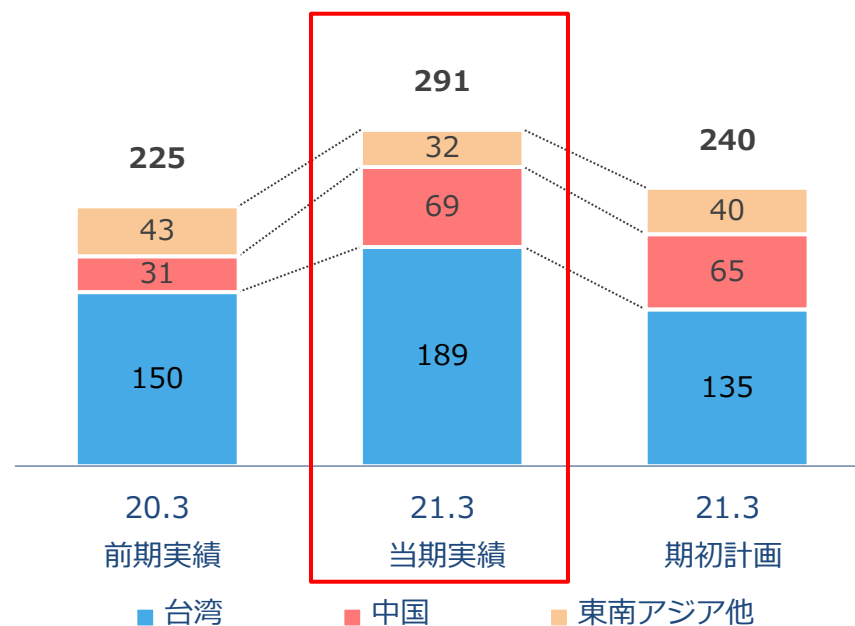
海外：台湾・中国で半導体関連の設備投資が大幅に増加

(単位：億円)

受注高：国内・海外



受注高：海外地域別



21年3月期通期実績：地域別売上高

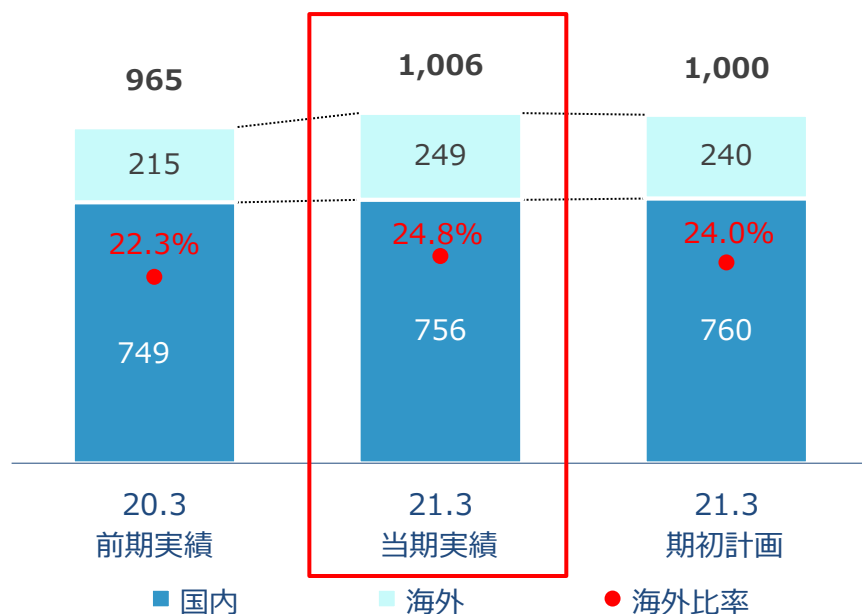
売上高は国内・海外とも伸長、計画並の水準を達成

国内：電子産業・一般産業で前期受注案件の工事が進捗

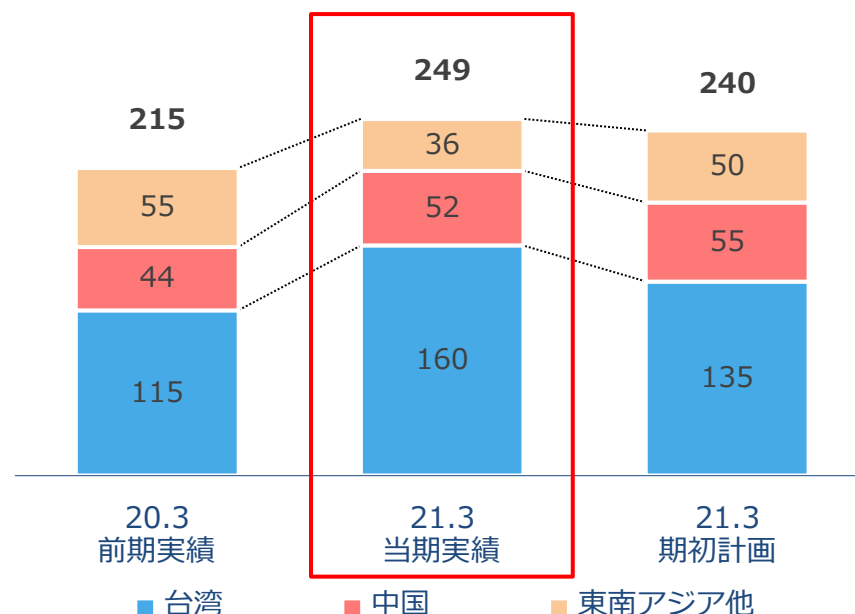
海外：東南アジアは停滞も台湾が好調、中国も前期を上回る水準を達成

(単位：億円)

売上高：国内・海外



売上高：海外地域別



21年3月期通期実績：水処理エンジニア事業売上高

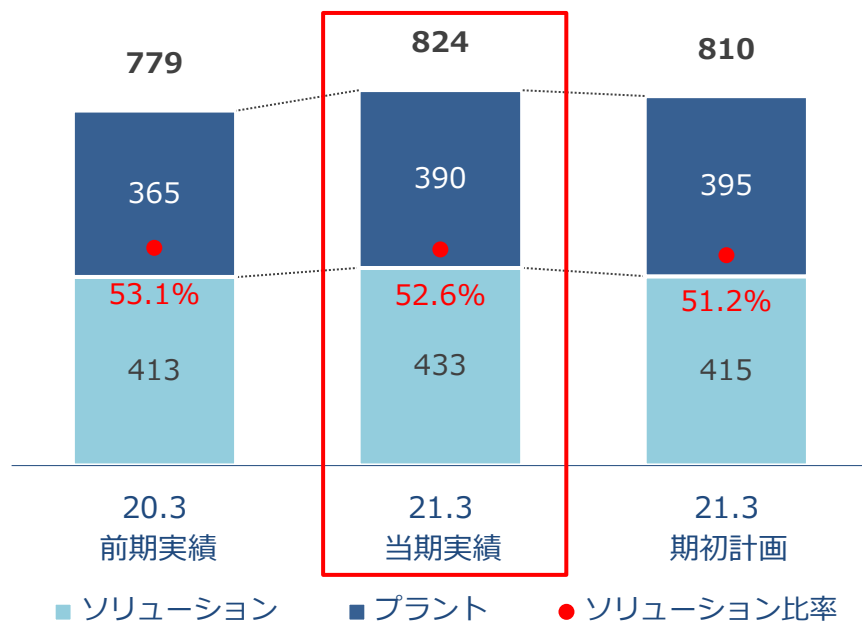
電子産業分野中心に売上拡大・ソリューションも堅調

プラントは国内・海外とも大型案件の工事が順調に進捗

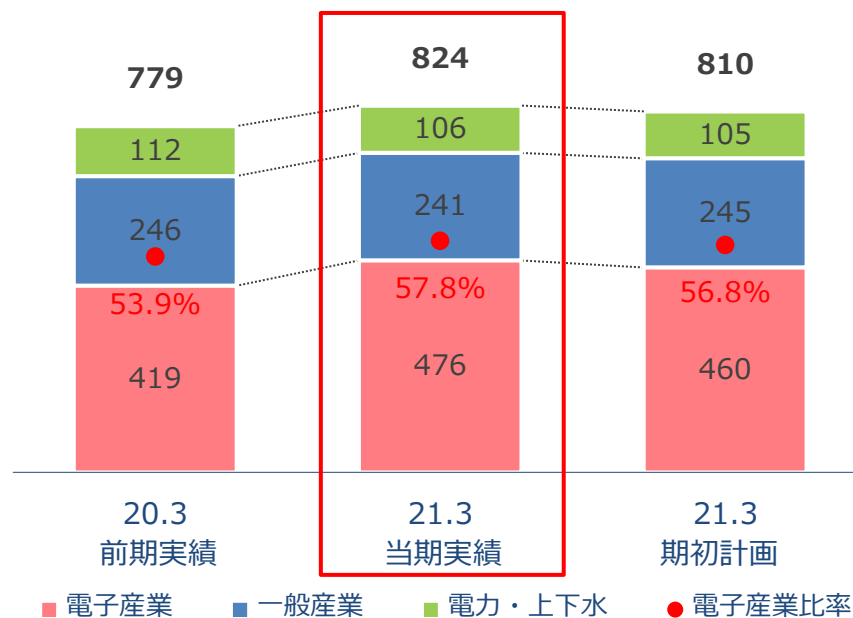
ソリューションは大型改造案件の寄与に加え各産業とも堅調に推移

(単位：億円)

水処理エンジニア売上高：プラント・ソリューション



水処理エンジニア売上高：市場分野別



21年3月期通期実績：電子産業分野受注高

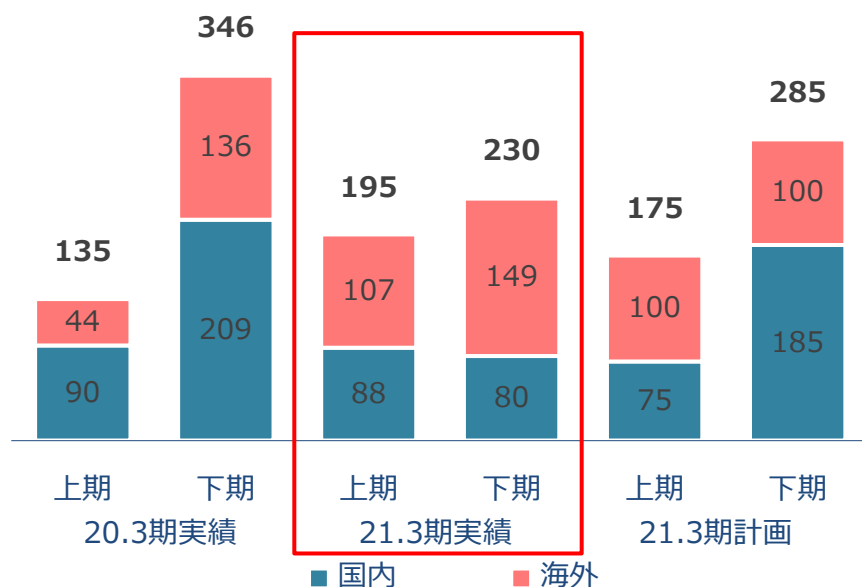
国内は大型案件の受注時期ずれ、海外は台湾・中国で大幅増

国内は下期に受注を見込んでいた大型案件が22.3期に受注時期ずれ

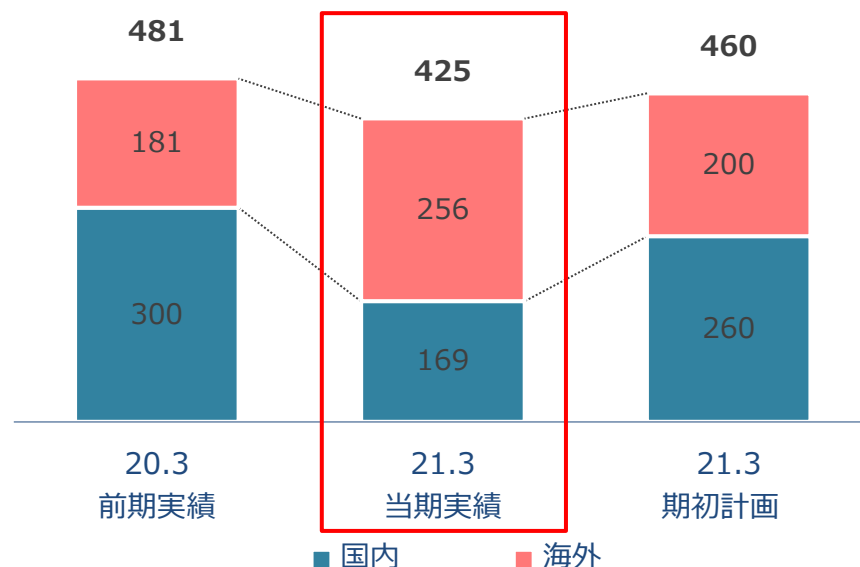
海外は台湾・中国で大型の半導体投資の活況続く

(単位：億円)

電子産業分野：受注高（上下比較）



電子産業分野：受注高



21年3月期通期実績：電子産業分野売上高

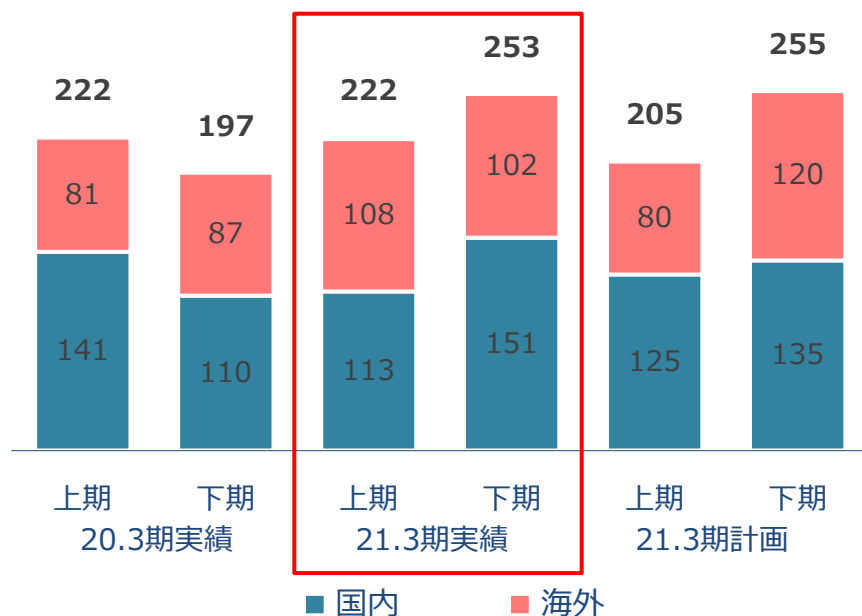
国内外とも大型案件の工事進捗により売上拡大

国内は前期受注の大型案件の工事進捗が寄与

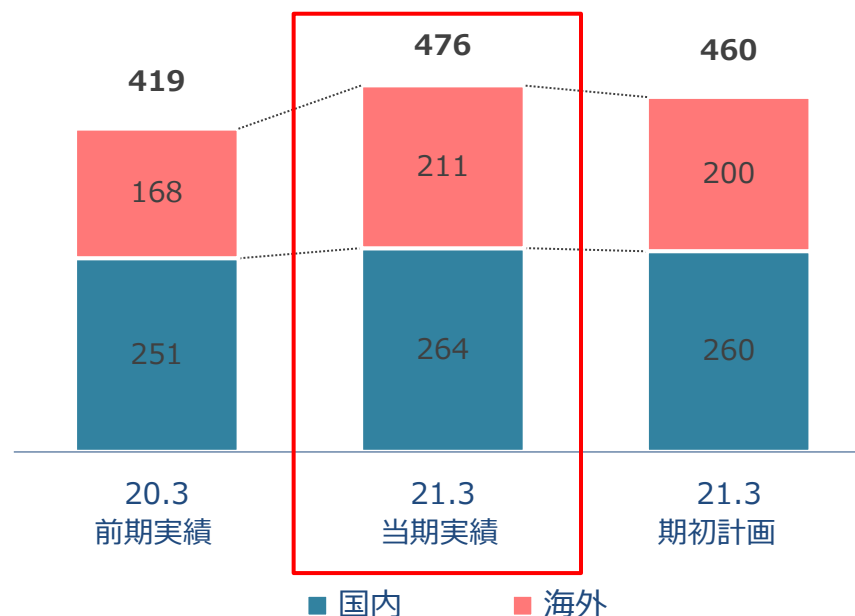
海外は台湾・中国の大型設備投資の工事が順調に進捗

(単位：億円)

電子産業分野：売上高（上下比較）



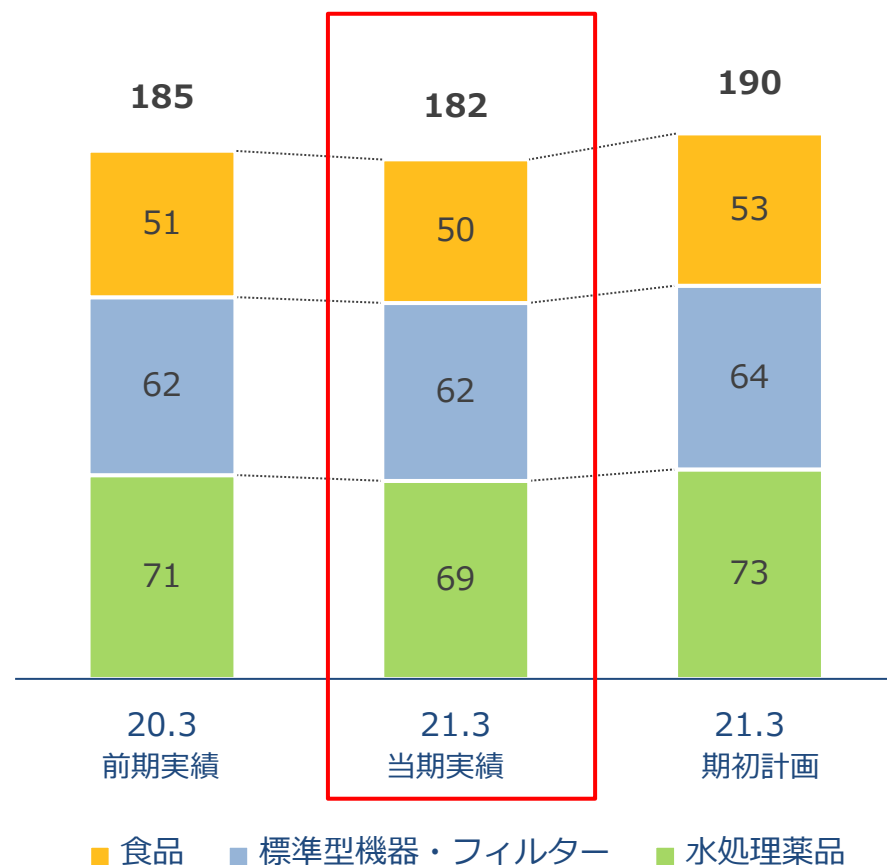
電子産業分野：売上高



21年3月期通期実績：機能商品事業売上高

(単位：億円)

機能商品事業売上高



■ 水処理薬品

電子産業向けの各種水処理薬剤や除菌・消臭用の微酸性電解水“オルプラス”が好調に推移したが、自動車など一般産業向け、台湾・中国など海外展開遅れが影響

■ 標準型水処理機器・フィルター

医療機関向けの検査用純水装置や、飲料ディスペンサー向けの浄水フィルターが減少も、営業強化に取り組んでいる研究機関などに向けたラボ用の純水・超純水装置の販売が好調に推移

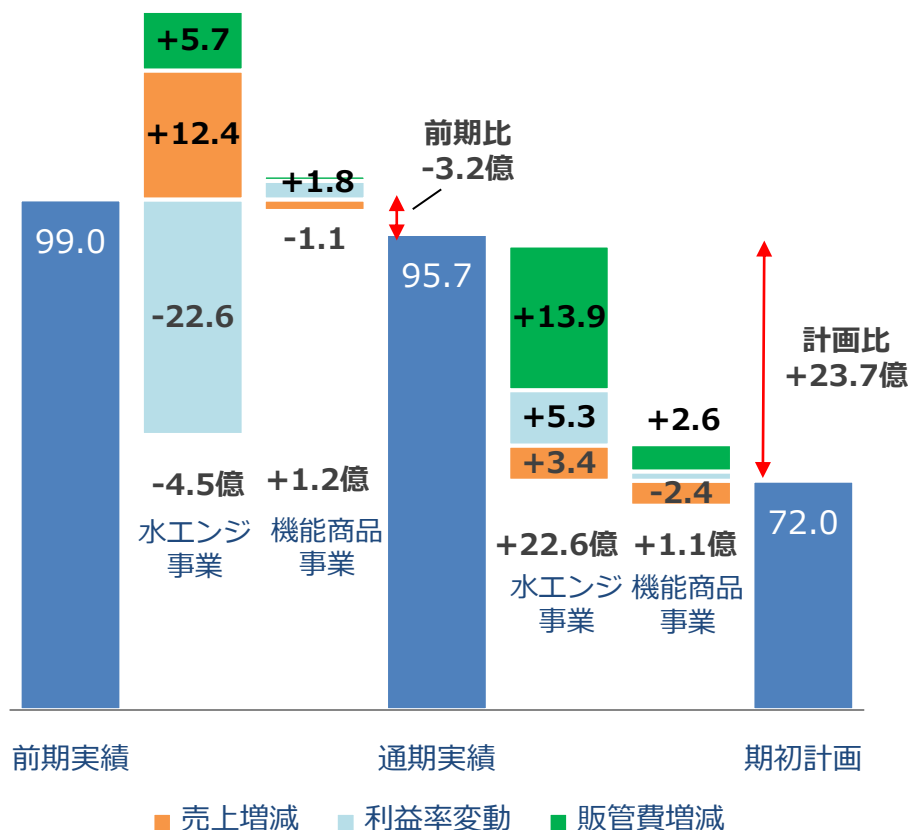
■ 食品

巣ごもり消費など家庭用食品向けが健闘も外食向けの減少が響く

21年3月期通期実績：営業利益分析

(単位：億円)

営業利益分析



■ 前期比：-3.2億（3.3%減）

水エッジ事業：-4.5億（5.1%減）

- ・売上は電子産業中心に拡大、販管費は営業経費など中心に減少
- ・利益率は前期に好採算の案件が集中した反動もあって前期比で低下

機能商品事業：+1.2億（12.8%増）

- ・製造経費等の固定費削減により利益改善

■ 計画比：+23.7億（33.1%増）

水エッジ事業：+22.6億(36.6%増)

- ・売上増やコストダウン等の利益改善に加え、営業経費等の減少が大きく影響

機能商品事業：+1.1億（11.4%増）

- ・営業経費等の減少により利益改善

目 次

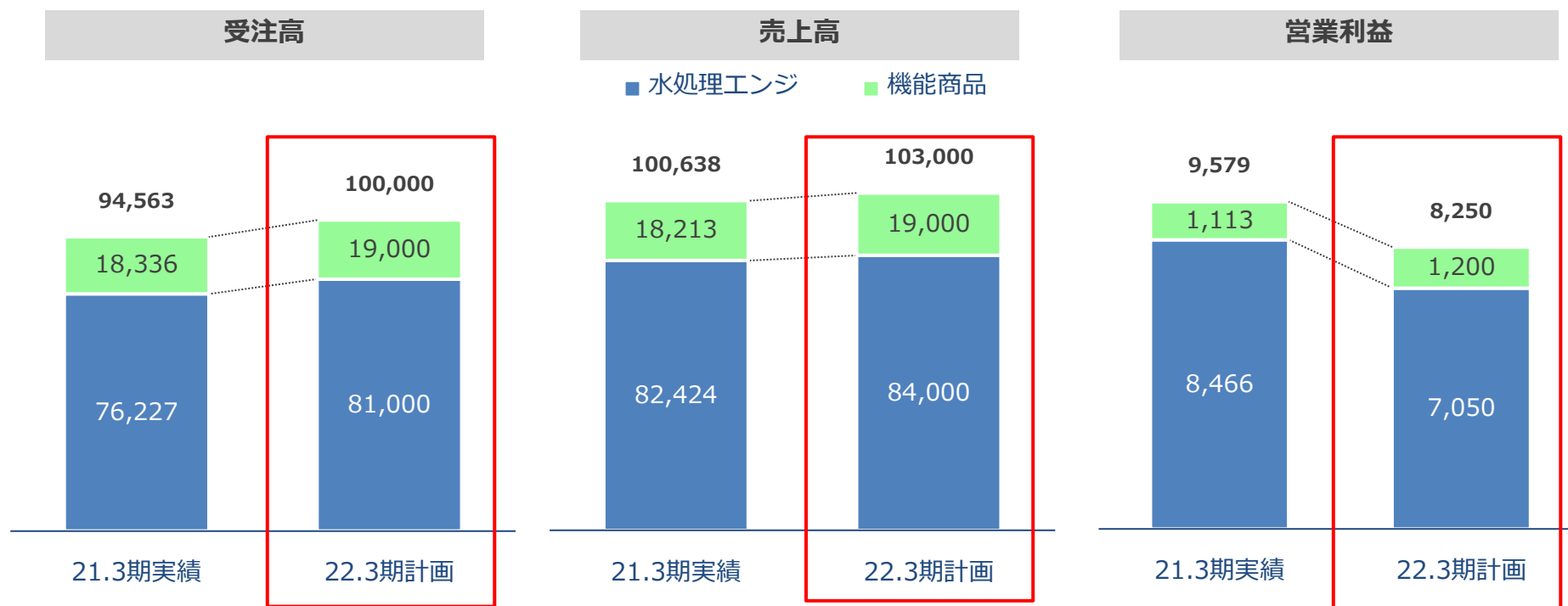
- 1. 2021年3月期 通期実績
- 2. 2022年3月期 通期計画
- 3. 中期経営計画
- 4. 会社概要

22年3月期通期計画：概況

受注は1,000億円に回復、営業利益は経費等の増で減益想定

水処理エンジニアリング事業は受注・売上とも高水準を想定、機能商品事業は前期停滞からの回復を計画。研究開発・海外体制・データ活用などの投資拡大で販管費増を計画

(単位：百万円)

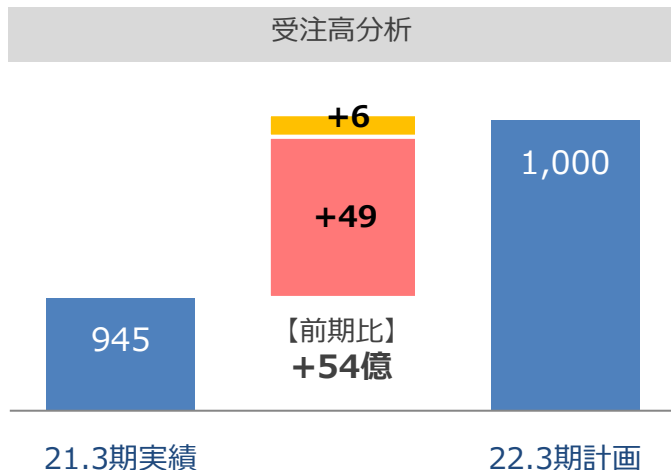


22年3月期通期計画：損益計算書

(単位：百万円)	21.3 実績	22.3 計画	前期比 (%)
受注高	94,563	100,000	+5.7%
売上高	100,638	103,000	+2.3%
売上総利益 (%)	26,326 26.2%	26,250 25.5%	-0.3%
販管費	16,746	18,000	+7.5%
営業利益 (%)	9,579 9.5%	8,250 8.0%	-13.9%
経常利益	9,900	8,150	-17.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,074	6,500	-8.1%
ROE (自己資本利益率, %)	11.1	9.3	

22年3月期通期計画：受注高・売上高分析

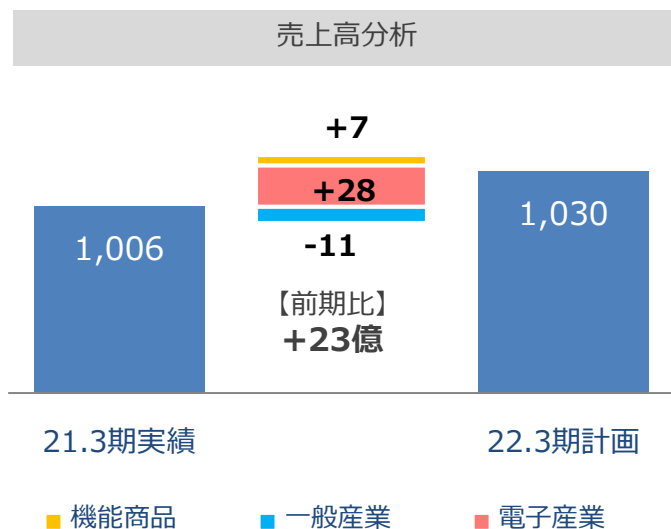
(単位：億円)



【受注高】

前期比：+54億円（5.7%増）

- ・ 電子産業は台湾・中国などでの設備投資が高水準で推移することを想定
- ・ 国内でも大型案件の受注を計画



【売上高】

前期比：+23億円（2.3%増）

- ・ 電子産業は高水準の設備投資が続く台湾・中国での売上増を想定
- ・ 一般産業は前期受注減の影響でプラントの売上減少を想定
- ・ 機能商品事業は各分野で回復を計画
新商品の投入や海外展開の強化を図る

22年3月期通期計画：地域別受注高

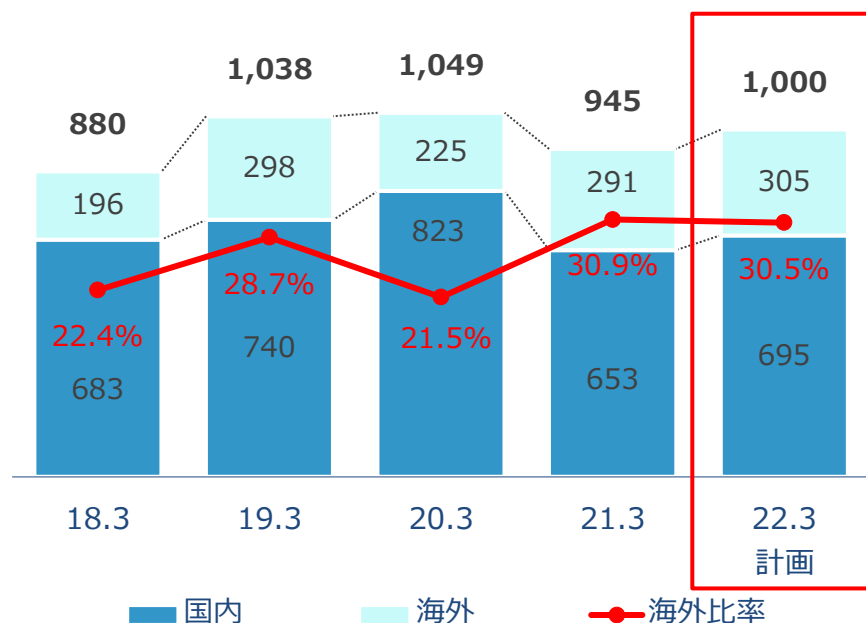
受注高は台湾・中国など海外でさらなる拡大見込む

国内：電子産業で前期から繰越となった大型案件の受注を計画

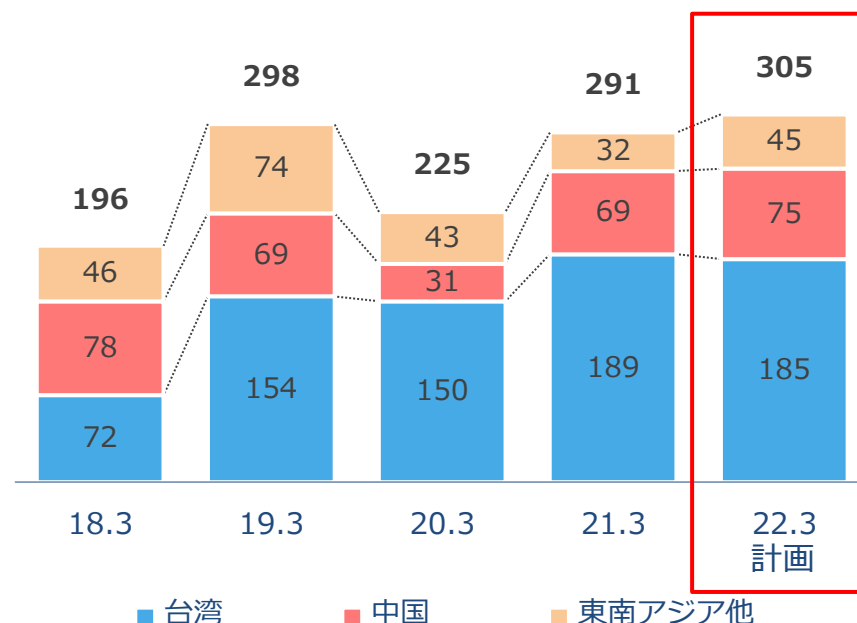
海外：台湾・中国での半導体投資は高水準での推移を想定

(単位：億円)

受注高：国内・海外



受注高：海外地域別



22年3月期通期計画：地域別売上高

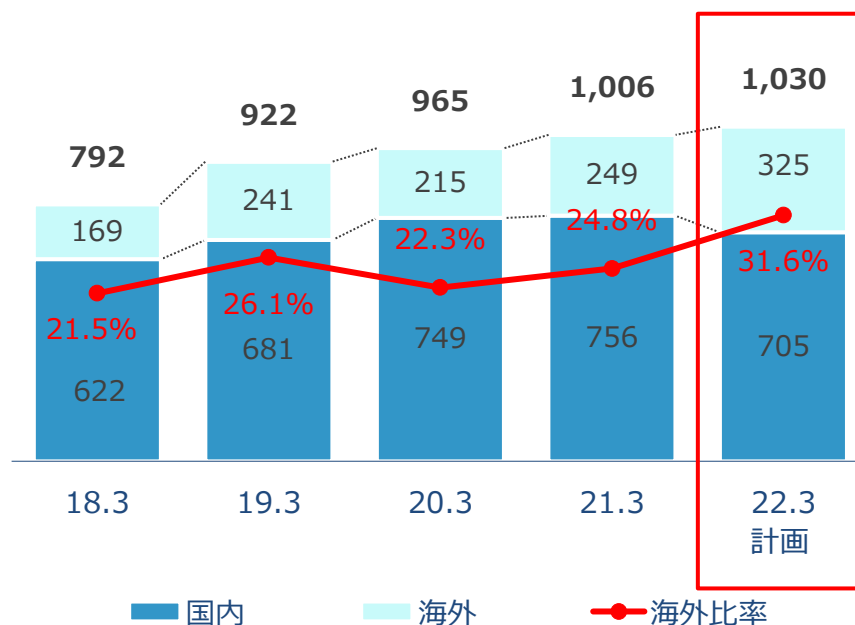
売上高も台湾・中国など海外売上の拡大が続く

国内：国内は現在進行中の大型案件が竣工、反動で減少を想定

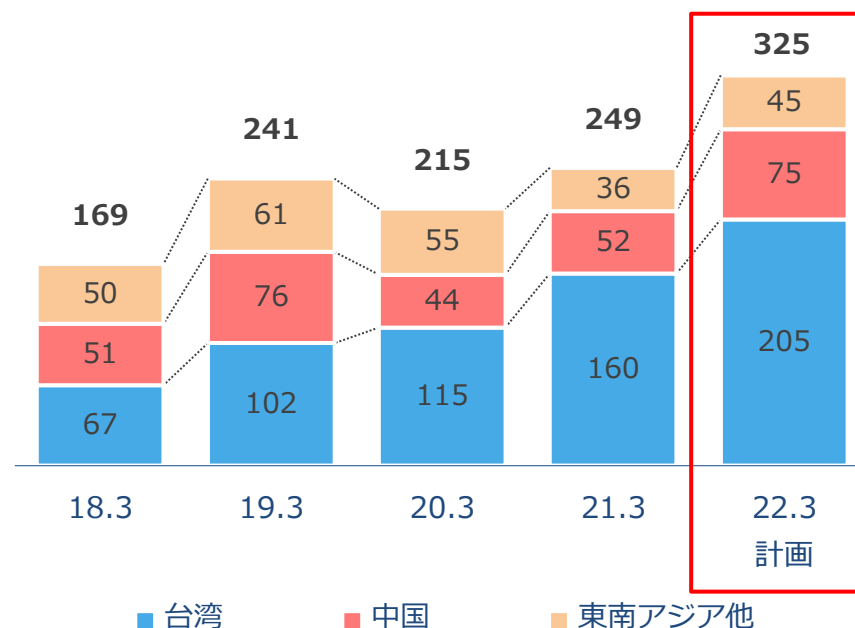
海外：台湾・中国では受注した大型案件の工事が進捗し大幅増

(単位：億円)

売上高：国内・海外



売上高：海外地域別



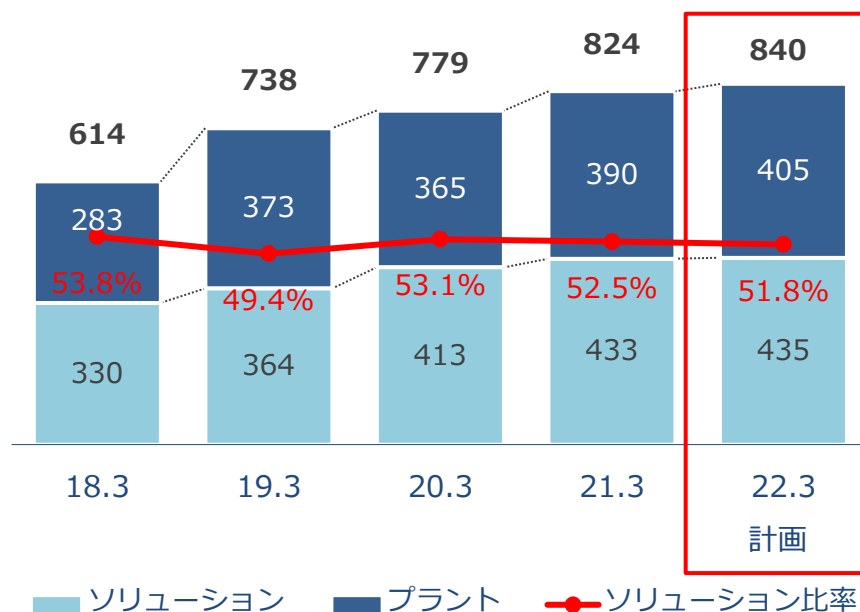
22年3月期通期計画：水処理エンジニア事業売上高

電子産業分野が高水準で推移・ソリューションも堅調

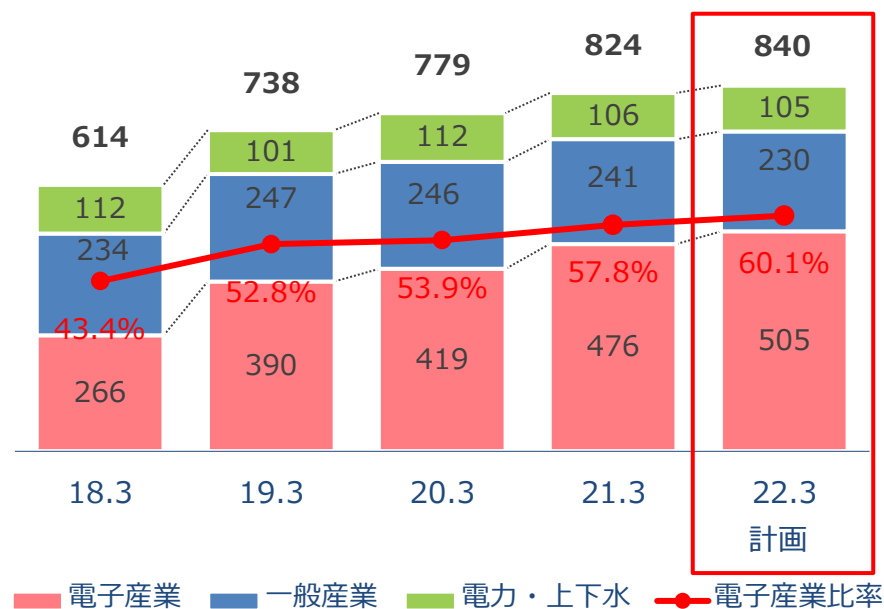
プラントは電子産業分野で海外の大型案件の工事進捗が寄与
ソリューションは各産業とも堅調な推移を見込む

(単位：億円)

水処理エンジニア売上高：プラント・ソリューション



水処理エンジニア売上高：市場分野別



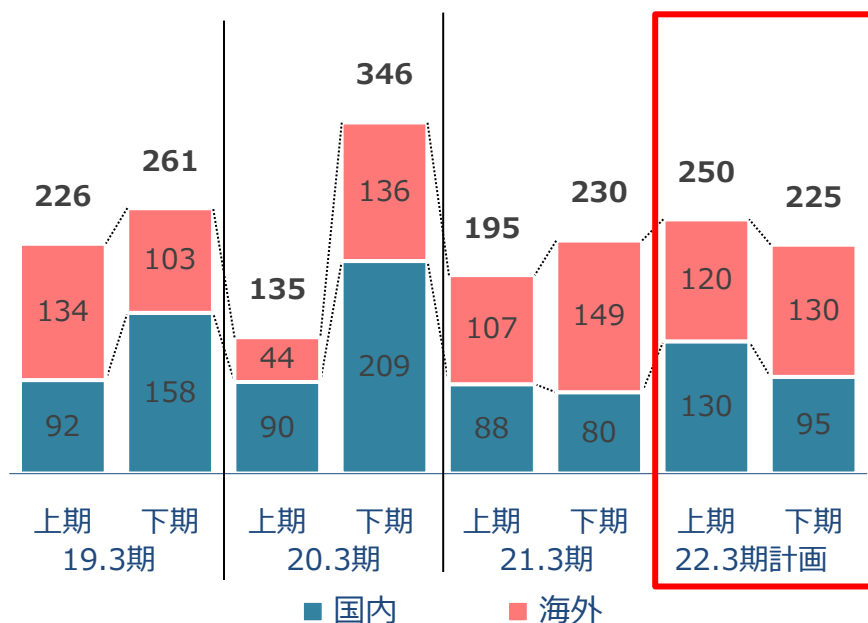
22年3月期通期計画：電子産業分野受注高

台湾・中国など海外での高水準の設備投資が継続

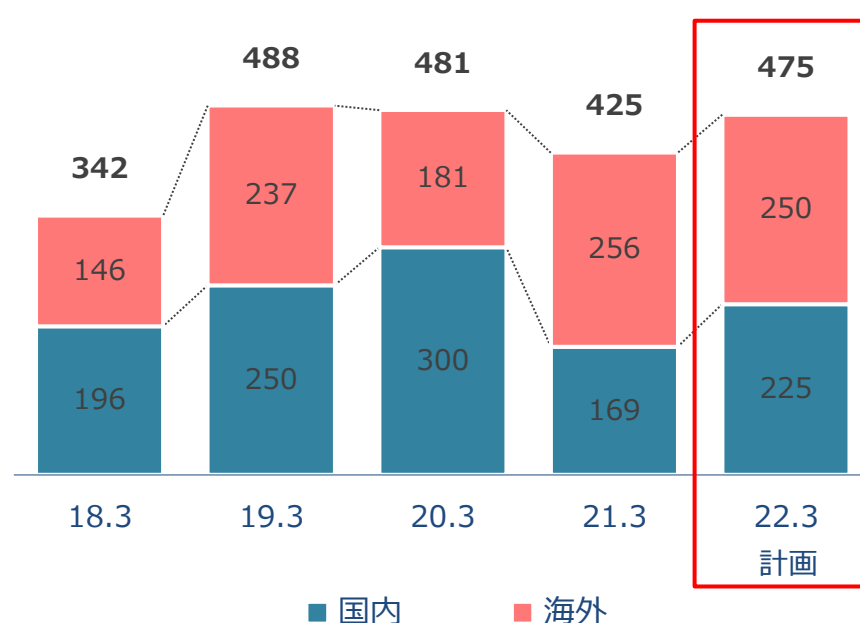
国内：前期から期ずれした大型案件は一部が当期に受注見込。設備の大部分は加工受託契約(P25参照)となり、受注計上は23.3期以降に
海外：台湾の水不足懸念も、半導体関連の大型投資計画続く

(単位：億円)

電子産業分野：受注高（上下比較）



電子産業分野：受注高



22年3月期通期計画：電子産業分野売上高

台湾・中国の売上拡大、海外売上が国内を上回る

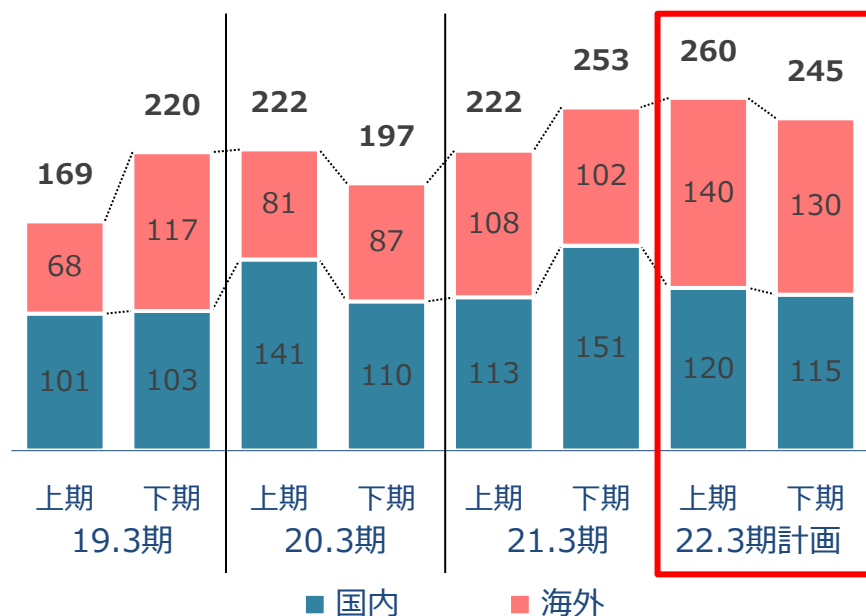
国内：工事進行中の大型案件は当期に竣工予定。工事開始を見込む

加工受託案件は23.3期以降の売上計上となる見込み

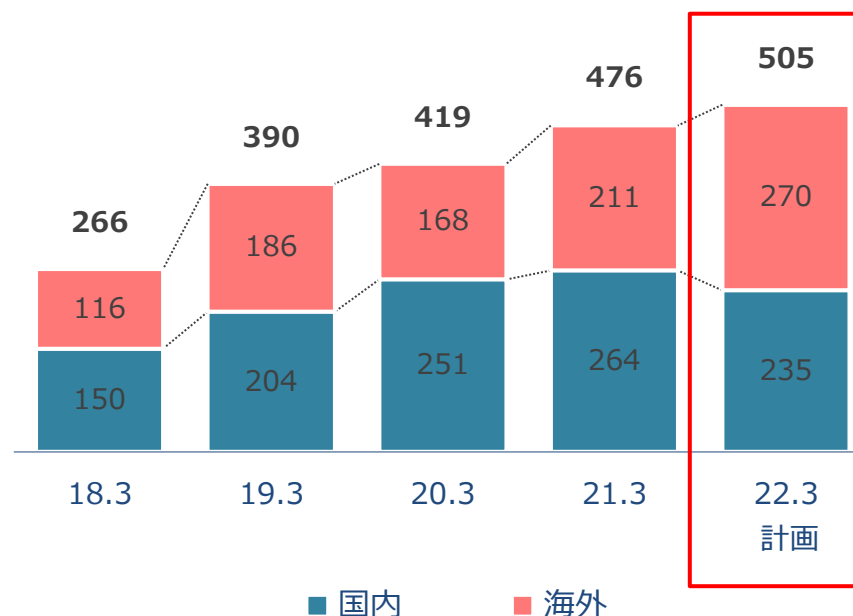
海外：台湾・中国で受注済の大型案件の工事進捗を見込む

(単位：億円)

電子産業分野：売上高（上下比較）



電子産業分野：売上高



過去最大規模の加工受託契約を計画

パッケージ型 ソリューションサービス

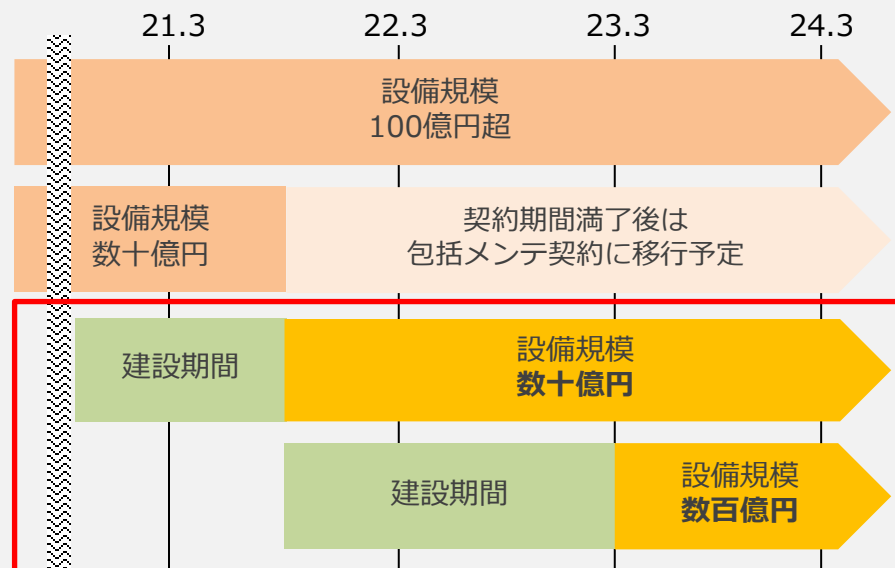
設備保有	運転管理	メンテ ナンス	
○	○	○	加工受託
	○	○	包括 メンテ
		○	定額 メンテ

加工受託・包括・定額メンテ
21.3期売上 数十億円/年



大型の加工受託契約開始で
売上は百億円以上/年に

加工受託サービスの状況

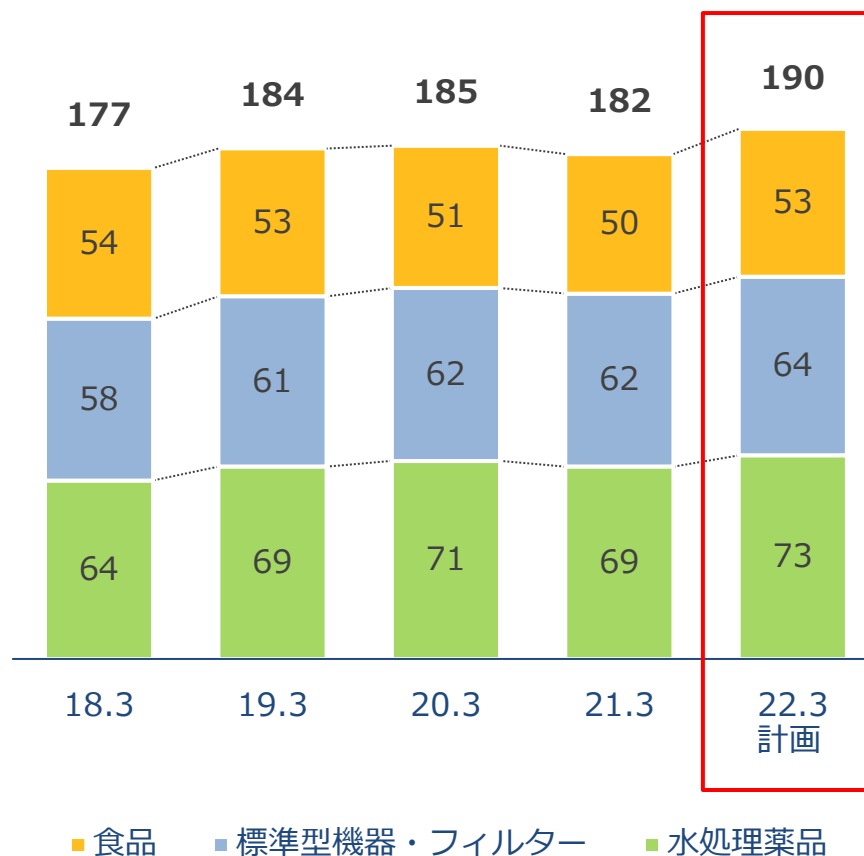


加工受託契約の受注・売上は
サービスの契約期間に応じて計上
23.3期以降業績への貢献始まる
: 通常の設定売りでは受注は契約時、
売上は建設期間中の工事進捗に応じて計上

22年3月期通期計画：機能商品事業売上高

(単位：億円)

機能商品事業売上高



■ 水処理薬品

好調な電子産業向けの拡販に加え、前期停滞した一般産業向け、台湾・中国など海外展開の再加速を計画

■ 標準型水処理機器・フィルター

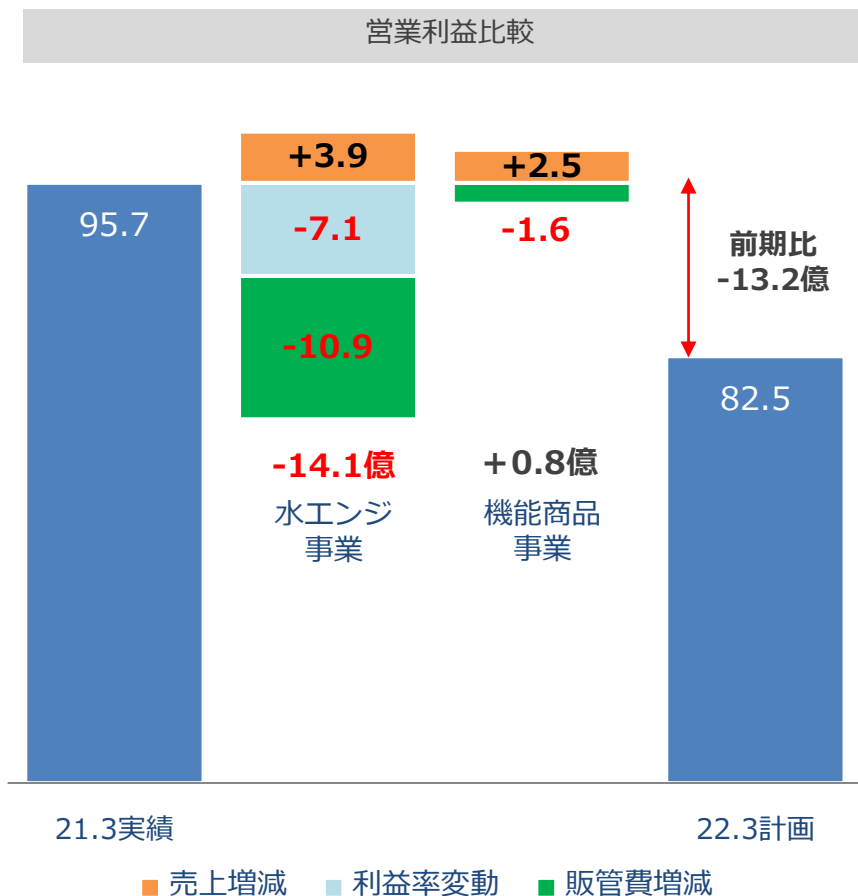
前期好調に推移したラボ向け装置は新機種を投入。医療機関向け・飲料ディスペンサー向けの浄水フィルターは市場の回復に合わせ拡販策を計画

■ 食品

前期開拓が進まなかった新たな顧客や新商品の拡販に向けてWebセミナーなどを活用した営業展開を計画。売上回復を目指す

22年3月期通期計画：営業利益

(単位：億円)



■ 前期比：-13.2億（13.9%減）

水エンジニアリング事業：-14.1億（16.7%減）

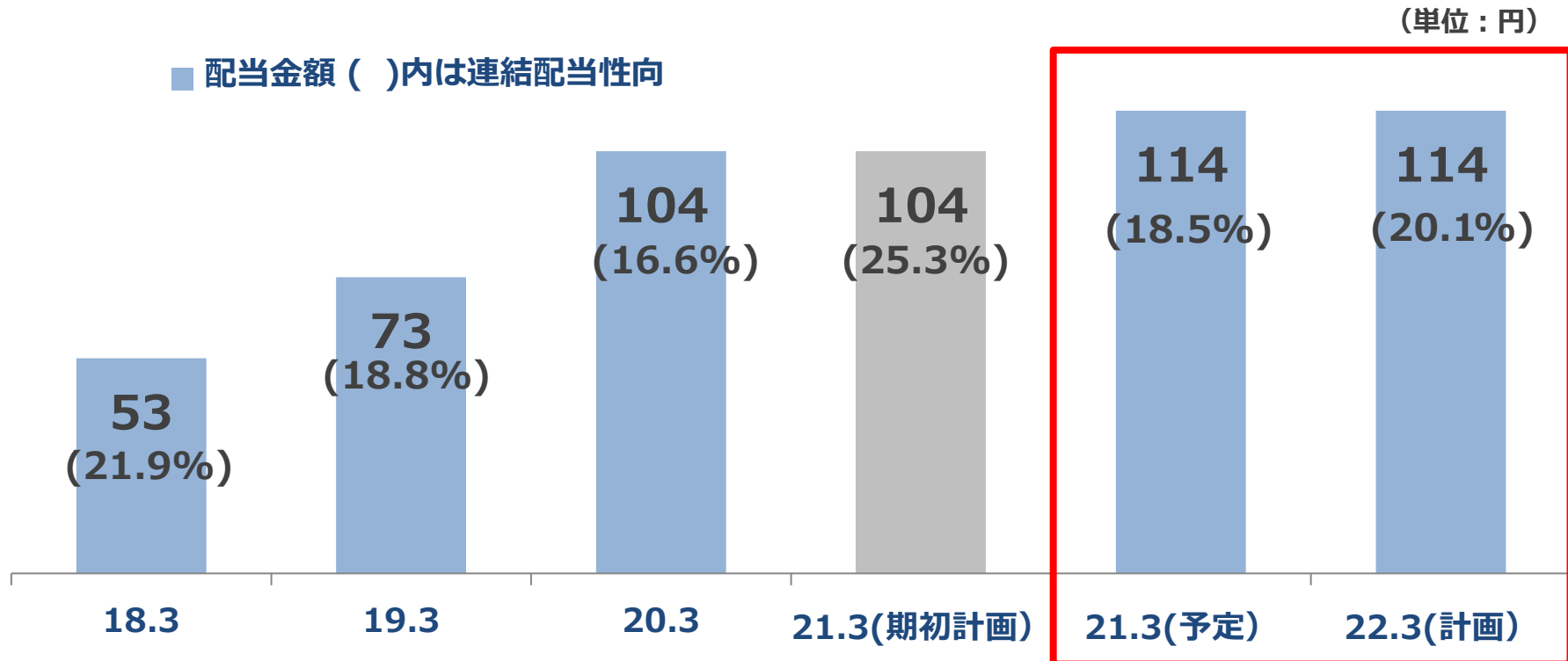
- ・ 電子産業分野の売上増を計画
- ・ 利益率は低下を想定も、各工事案件のコストダウンを進め前期並の利益率達成を目指す
- ・ 販管費は研究開発投資や海外におけるエンジニアリング体制整備、デジタル投資の加速などを計画

機能商品事業：+0.8億（7.8%増）

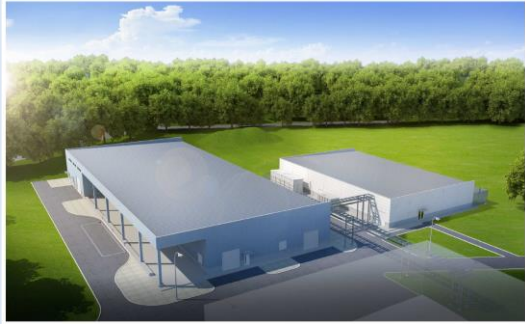
- ・ 各分野で前期伸び悩んだ売上の拡大を計画、特に台湾・中国など海外向けの事業拡大を図る
- ・ 販管費は研究開発投資や海外での営業強化策を計画

配当金の推移

- 21.3期は期初計画を上回る配当実施を予定
- 安定的・継続的な配当の実施を基本方針としつつ、収益の状況に応じた利益配分に努める



主な指標

	20年3月期 実績	21年3月期 実績	22年3月期 計画	主な設備投資計画
設備投資額 (百万円)	1,154	1,015	4,500	約30億円を投じ開発センターに新実験棟を建設。 次世代の超純水システムや分離精製技術の開発強化に取り組む。 22年4月の稼働開始を予定  【新実験棟 建設イメージ】
技術研究費 (百万円)	2,178	2,300	2,300	
減価償却費 (百万円)	1,189	1,212	1,200	
有利子負債 (百万円)	9,740	16,005	17,000	
従業員数 (人)	2,249	2,319	2,340	
年間配当金 (円)	104	114	114	
ROE (%)	12.4	11.1	9.3	

※設備投資には無形固定資産等への投資額を含みます

目 次

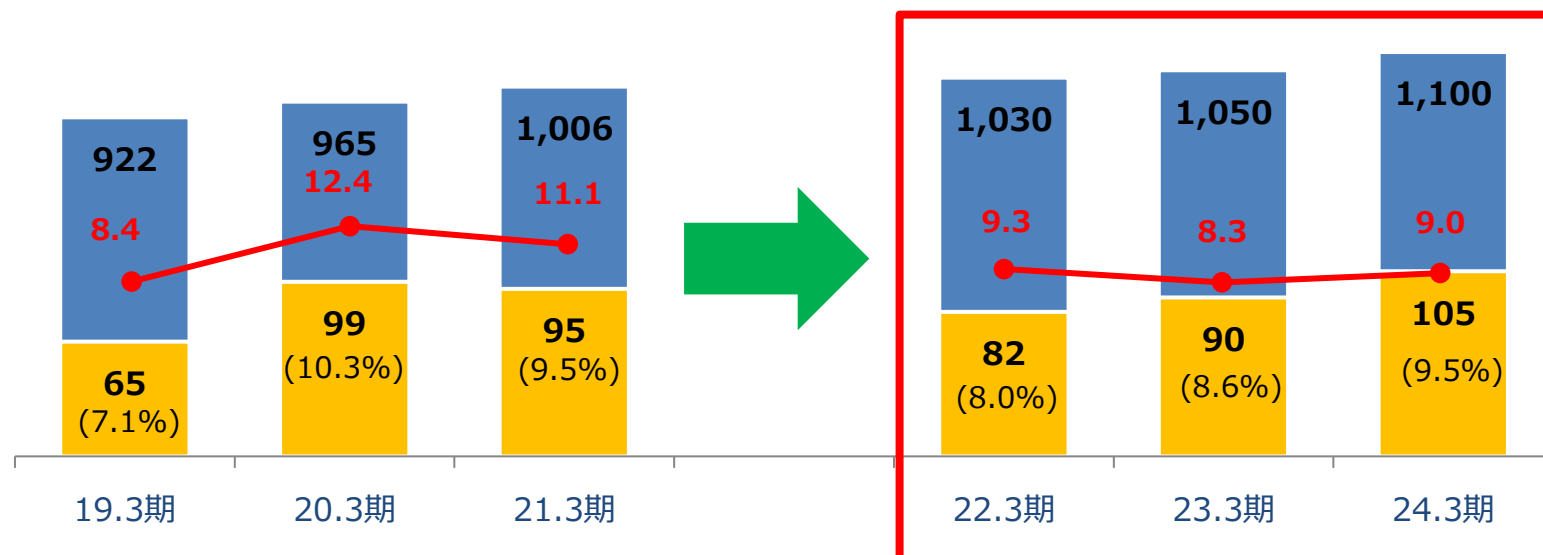
- 1. 2021年3月期 通期実績
- 2. 2022年3月期 通期計画
- 3. 中期経営計画**
- 4. 会社概要

中期経営計画：22.3期～24.3期計画

- 長期的な経営の方向性を議論し、長期計画の骨子を取りまとめたうえで中期計画を策定
- 最終年度（24年3月期）は売上高1,100億円以上、営業利益105億円以上を目指す

中期経営計画

■ 売上高 ■ 営業利益・率 ● ROE (単位：億円・%)



中期経営計画

2021～2023年度 中期経営計画

重点分野/市場・成長ドライバー

電子産業分野

- ・ 水処理加工受託サービス拡大
- ・ 米国進出と体制整備
- ・ エンジニアリング業務の効率化

水処理薬品

- ・ 水処理薬品+装置+センサー/IoTなどパッケージメニューの拡充
- ・ 新たな商品/技術の開発、海外市場（台湾・中国・米国など）の開拓

機能材料

- ・ 新事業/新技術に向けたイオン交換樹脂・膜など機能材料の開発
- ・ 国内外における機能材料の安定供給体制の構築

ソリューションサービス

- ・ オルトピア/オルスマートなどデジタルソリューションサービスの基盤整備
- ・ 国内外におけるソリューションサービスの体制整備と品質向上

中国・台湾市場

- ・ 半導体案件の受注
- ・ 一般産業/機能商品事業の展開
- ・ 現地生産、研究開発ソリューション体制の整備

研究開発

売上高の2.5%を目途に開発投資を拡大、電子産業分野に向けた次世代超純水システムや水回収技術、非水系の分離精製技術による新規事業の創出、センシング&デジタル技術の強化に取り組む

事業基盤の構築

エンジニアリング
体制の強化

ESG/SDGsへの
取組み

安全・
コンプライアンス
の徹底

データ活用の推進

人材の
育成・活用

中期計画での取組み

重点分野/市場

電子産業 分野

- ・ 水処理加工受託サービスの拡大
大手顧客に対し過去最大規模の水処理加工受託サービスを展開
収益の安定化に加え、ソリューションサービスの進化に挑戦
- ・ 米国への展開と体制整備
半導体工場の建設計画が相次ぐ北米での事業展開体制を整備
- ・ エンジニアリング業務の効率化
グローバルエンジニアリングセンターの設立、
エンジニアリング業務のDX化推進

中国・台湾 市場

- ・ 大型半導体案件の受注
積極的な計画が続く大型の半導体案件に営業展開
- ・ 一般産業分野/機能商品事業の展開
中国では電子産業以外の市場に向けた事業体制を構築
- ・ 現地体制の強化
現地での生産・研究開発・ソリューション体制を整備

中期計画での取組み

成長ドライバー

水処理 薬品

- ・ パッケージメニューの拡充
水処理薬品と装置、センサー/IoTを組合わせたパッケージメニューを拡充
- ・ 新商品/新市場の開拓
マーケティング強化やオープンイノベーション活用で新商品開発を強化
電子産業の展開が進む台湾・中国・米国などでの事業体制構築

機能材料

- ・ 新事業/新技術に向けた機能材料の開発・拡販
イオン交換樹脂や膜など、新たな機能材料の開発を促進
- ・ 国内外での安定供給体制の構築
高機能品の精製能力拡充や中国・台湾など海外での供給体制を整備

ソリューション サービス

- ・ デジタルソリューションサービスの基盤整備
運転監視システム「オルトピア」やパッケージ型サービス「オルスマート」
などデジタル技術を活用したサービスメニューの拡充と基盤整備
- ・ 国内外でのソリューション体制整備
中国・台湾でのソリューション体制整備、サービス品質の向上

中期計画での取組み

成長ドライバー

売上高の2.5%を目途に開発投資を拡大、電子産業分野に向けた次世代型超純水システムや水回収技術、非水系の分離精製技術による新規事業の創出やセンシング&デジタル技術の強化に取り組む

研究開発

次世代型超純水・ 水回収システム

- ・ 開発センター内に専用新棟を増設
- ・ ppt(1兆分の1)レベルの不純物除去
- ・ 水質に応じた最大回収率システムの構築

非水系分離精製技術

- ・ 開発センター内に専用新棟を増設
- ・ 電子産業に向けた溶剤/薬液等の精製機能材料を拡充
- ・ NMP精製設備は初号機納入を目指す

センシング&デジタル技術

- ・ 装置/薬品とセンシング&デジタル技術のパッケージサービスを拡充
- ・ 画像解析技術を活用した排水処理や薬品注入量の最適化などを実装

中期計画での取組み

事業基盤の構築

エンジニアリング体制の強化

- ・ GEC（グローバルエンジニアリングセンター）の設立
海外でのエンジニアリング体制の強化、海外人材の活用に向けてベトナムにGECの設立を進める（従来からのECAを強化）
- ・ データドリブン型エンジニアリングの推進
エンジニアリングデータベースの構築・活用を進め、将来的に水処理プラントの自動設計・自動運転をめざす

ESG・SDGsへの取組み

「社会の期待に応え、信頼を得られる企業を目指し、様々なステークホルダーのパートナーとして持続可能な社会の実現を目指す」

⇒ICTによる水処理プラント効率運用、水処理薬品による省エネ等気候変動問題や水資源有効利用への取組みを推進

中期計画での取組み

事業基盤の構築

安全・コンプライアンス の徹底

- ・ 安全の徹底
グループの安全研修・認定・監査制度を整備し職場の安全を徹底
- ・ コンプライアンスの徹底
各種のコンプライアンス教育や各職場でのボトムアップ型コンプライアンス活動を推進

データ活用 の推進

- ・ 専門部署を設置し推進力を強化
データを活用した新たなサービスの開発や、将来に向けた設計や設備運転の自動化を推進する専門部署を設置（21.7～）

人材の 育成・活用

- ・ グローバル人事戦略の構築/マネジメント制度の刷新
海外人材の育成・活用を目指した中長期的なグローバル人事戦略を構築
将来の経営層育成に向け管理職制度の見直し・再構築を実施
- ・ 働き方改革への取組み
ペーパーレス化やICTツールの活用による業務の効率化を推進

TOPICS

当社の省エネソリューションサービスが 2020年度省エネ大賞を受賞 (省エネルギーセンター会長賞)



当社開発の「非塩素系無機殺菌剤」を配合した
世界初の冷却水複合処理剤“オルブレイドシリーズ”
によって、冷凍機冷却水の様々な水質条件の
伝熱障害に対し最適な処理を提供し、
冷凍機のエネルギー使用量削減を実現

外観の変化



LTDの改善



冷凍機の消費電力削減により、工場・
オフィスビルなどのセントラル空調の
省エネを実現。



省エネやCO2削減に貢献する
サステナブルな製品・技術、
サービスの拡充を進める

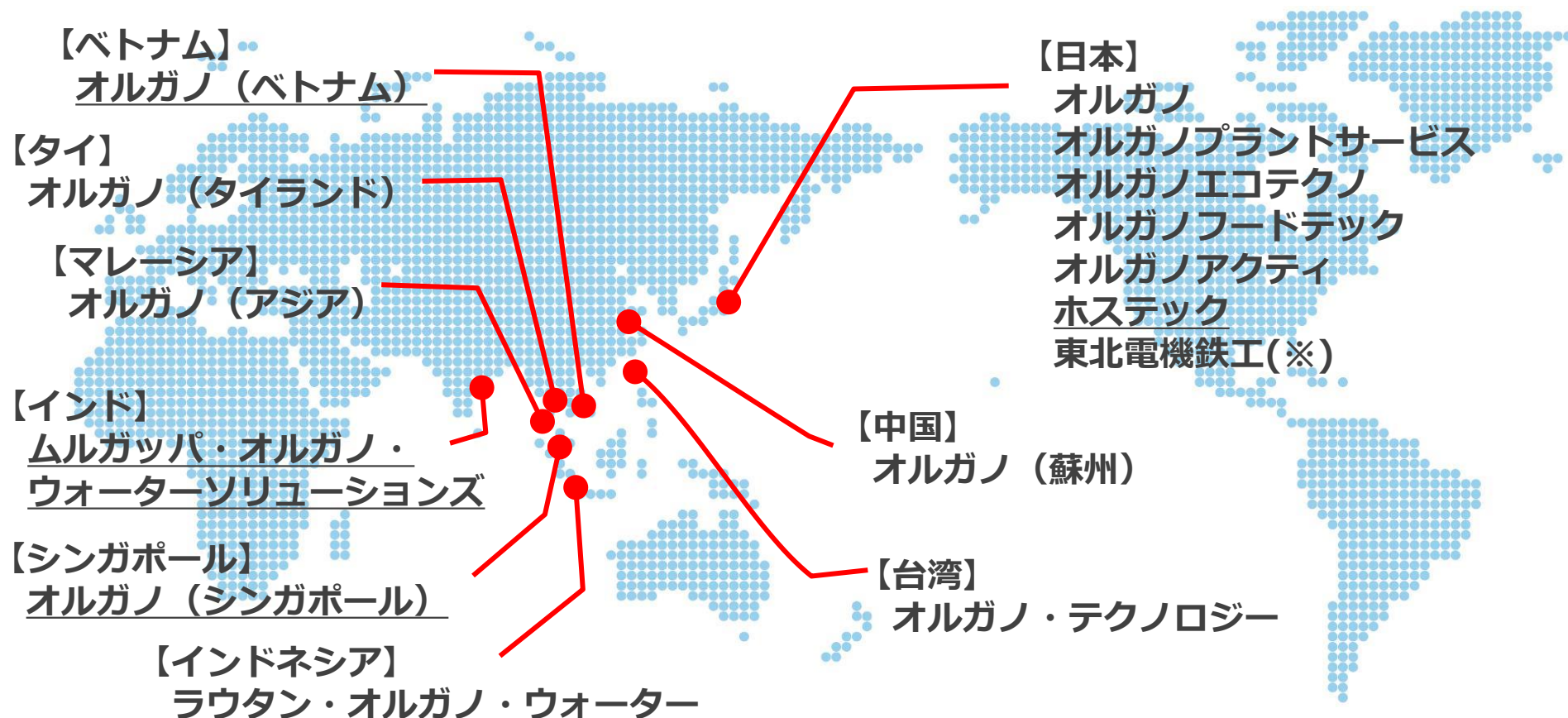
目 次

1. 2022年3月期 通期実績
2. 2022年3月期 通期計画
3. 中期経営計画
4. 会社概要

会社概要

社 名	オルガノ株式会社（英名：Organo Corporation）		
本社所在地	〒136-8631 東京都江東区新砂1丁目2番8号		
設 立	1946年5月1日		
代表者	代表取締役社長 内倉 昌樹		
資本金	82億2,549万9,312円		
従業員数	2,319名（連結） ※2021年3月31日現在		
主な 事業内容	水処理エンジ	プラント事業	大型水処理設備の製造販売
	ニアリング事業	ソリューション事業	設備のメンテナンス・運転管理・改造工事等
	機能商品事業		標準型水処理機器、水処理薬品、 食品添加剤の製造販売
主な 事業所	本社（東京都江東区）、開発センター（相模原市）、 つくば工場（つくば市）、いわき工場（いわき市）、 北海道支店（札幌市）、東北支店（仙台市）、 関東支店（東京都江東区）、中部支店（名古屋市）、 関西支店（吹田市）、中国支店（広島市）、九州支店（福岡市）		

オルガノグループ各社



(※)は持分法適用会社、下線は非連結子会社・関係会社

オルガノグループの歴史

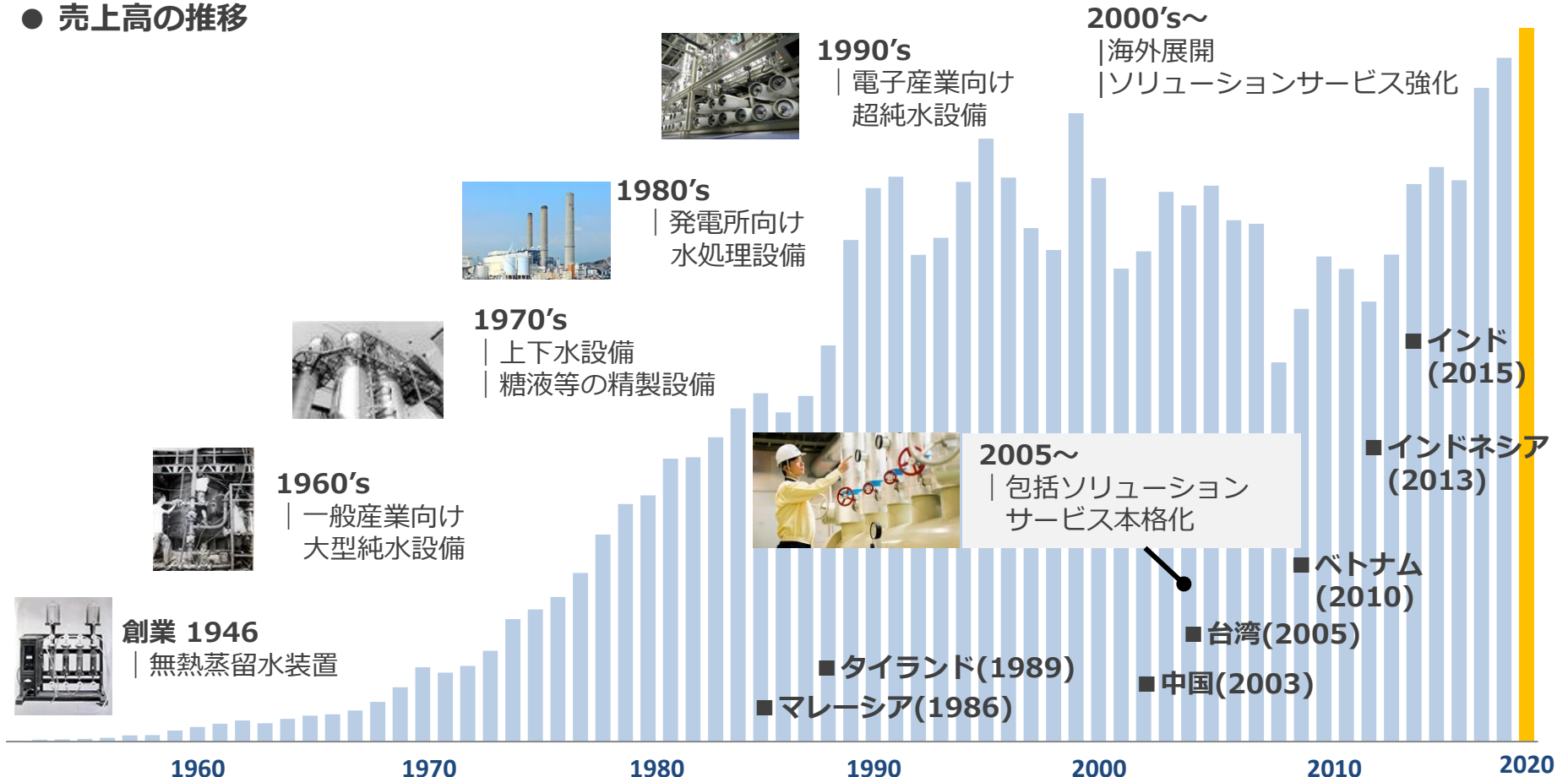
創業期

成長期

成熟期

再成長期

● 売上高の推移



オルガノグループの事業

水処理エンジニア事業

ソリューション
433億円



- 消耗品交換・メンテナンス
- 運転管理・包括メンテナンス
- 改造工事
- 水処理加工受託

2021.3期
売上高
824億円

プラント
390億円



- 純水・超純水設備
- 排水処理・回収設備
- 有価物回収設備
- プロセス関連設備

機能商品事業

食品加工材
50億円



- 食品添加剤
- 食品素材

標準型機器・フィルター
62億円



- 純水・超純水装置
- 浄水フィルター

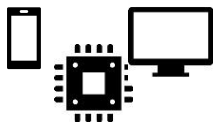
2021.3期
売上高
182億円

水処理薬品
69億円



- 排水・冷却水・洗浄・RO膜・ボイラ等処理剤

電子産業



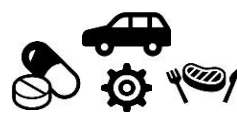
- 半導体
- FPD
- 電子部品

電力/上下水



- 発電所
- 浄水場
- 下水処理場

一般産業



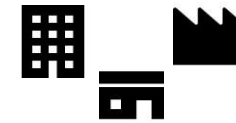
- 医薬/化粧品
- 食品/飲料
- 機械/化学

機器/フィルター



- 医療/研究
- 各種製造業
- 飲食/コンビニ

水処理薬品



- 各種製造業
- ビル/商業施設

食品加工材



- 食品加工
- 飲料製造
- 介護/健食

お問い合わせ先

経営統括本部 経営企画部

TEL : 03-5635-5111 / FAX : 03-3699-7240

ホームページ

<https://www.organo.co.jp>

お問い合わせフォーム

<https://www.organo.co.jp/contact/>



オルガノ株式会社



本資料における業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであるため、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績はこれと異なる可能性があります。